

鳥取市「気高道の駅（仮称）」整備基本構想・基本計画に対する 市民意見等について（報告）

本市では、平成27年4月15日～平成27年5月15日にかけて、昨年度策定した「鳥取市「気高道の駅（仮称）」整備基本構想・基本計画（案）」に対する市民政策コメントを募集しました。また、平成27年4月27日（鹿野地域）、4月30日（気高地域）、5月1日（青谷地域）には、鳥取市西地域3か所で市民説明会を開催したところです。

本事業について多くのご意見・ご提案をいただきましたので、主な内容とそれに係る市の考え方をお知らせするとともに（裏面参照）、あわせて今後の予定を報告します。

なお、いただいたご意見等は、今後の実施計画策定、設計協議等の参考とさせていただきます。



市民説明会の様子

【市民政策コメント】

★募集結果 提案者：9名 意見：80件

（提出方法）メール3名 FAX1名 郵送等5名

（提案者居住地）鳥取地域 2名 気高地域 4名 鹿野地域 2名 青谷地域 1名

【市民説明会】

	気高地域	鹿野地域	青谷地域
出席者	61名	60名	29名
質疑・提案者	10名	8名	5名
提案数	16件	15件	8件

【今後の予定】

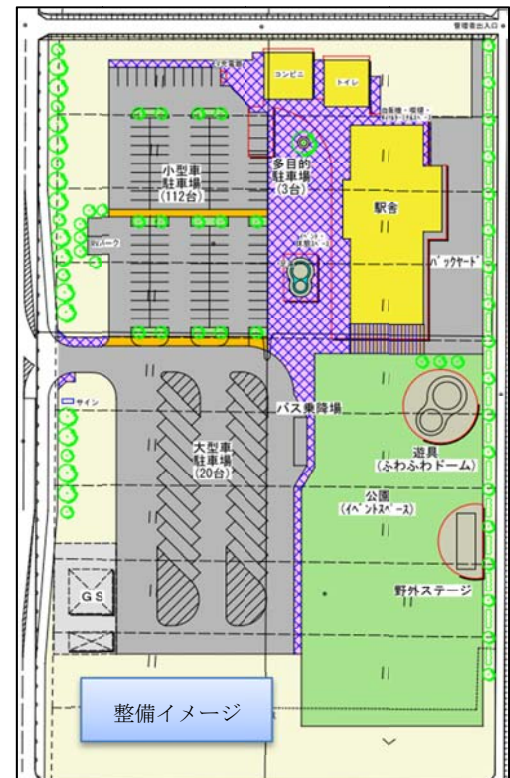
7月 国・県に対する主要事業要望 知事要望・国交省要望

※事業協力要請

8月 基本構想・基本計画確定

概算事業費・全体スケジュール 公表

9月 市議会全員協議会で事業説明



整備イメージ

※基本構想・基本計画(案)及び、意見に対する市の回答は鳥取市公式ウェブサイト都市企画課ページに掲載しています。
<http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1432512818609/index.html>

分野	ご意見	鳥取市の考え方
施設関係	給油所、いわゆるガソリンスタンド(EV付)を設置してはどうか。現在計画中の道路が完成すると智頭から米子までガソリンを供給するところが無く不自由する。また、丁度、浜村温泉街にあったガソリンスタンドが閉鎖するなど、地元でも経営する能力のあるものがあると思う。	山陰道の給油機能となり、インターチェンジを降りるきつかけとなる「ガソリンスタンド」を道の駅周辺に誘致することは意義のあることと考えます。今後、地域の状況、近隣の民間企業の出店状況等を踏まえながら、検討してまいります。 EV充電器、水素自動車設備等は、駐車場の付帯施設として検討してまいります。
	コンビニ、地元産品の販売(100円市等)	近隣住民が買い物ができ、大型ドライバー等が立寄るきつかけとなるコンビニエンスストアの整備を検討します。また、物販施設に日用品等の一般雑貨コーナーを設けてコンビニエンスストア的な機能を持たせることも検討します。
	体験型スペース(貝殻節踊り体験、陶芸体験、かみすき体験、そばうち等)	道の駅には、交流スペースや農産物加工施設を設けることとしており、地域コミュニティの育成や、観光客と地元住民の交流が促進できる取り組みに活用したいと考えます。
	他の道の駅とは違う目玉も必要。 例) ・図書館のある道の駅 ・天体観測ができる道の駅(この地域は星空がきれい。) ・学校教育(教育旅行等)で活用できる展示、広場 ・オートキャンプ可能なスペース ・車だけでなく、自転車、トレイルハイカー等が利用できるスペース(テントが張れるサイトなど)	本道の駅は、「おもしろい道の駅」「まちの顔・案内人」「地域のための道の駅」「地域に還元する道の駅」を目指し、「人とまちを元気にする鳥取・因幡らしさが息づく西因幡道の駅」をコンセプトとして設定しています。 地域を活かす、地域を感じる、地域と暮らすを3本の柱としておもてなしの心を基本に、地域全体に関わりながら道の駅を盛り上げ、道の駅の人・モノ・お金の流れが地域や市全体に波及する、人とまちを元気にする道の駅を目指してまいります。 道の駅には、地域住民イベントや道の駅販売促進イベント、災害時の施設仮設あるいは一時避難場所等、多目的に利用できる屋外のオープンスペースの併設を検討します。オープンスペースでのオートキャンプ利用も運営計画策定の段階で対応方針を検討すべきと考えます。
	足湯が作れないか。気高町は温泉のある町、温泉のある駅を特徴とする。鷲峰山の見える位置に温泉浴場を作る。気高は温泉のある町、長距離運転手さんがお風呂に入り、休憩や仮眠できるところ、温泉を活かした温泉のある道の駅にしていきたい。	地域の温泉をプチ体験できる場所として、本物をPRするとともに、湯気による雰囲気づくりや「冬も楽しめる道の駅」とするため、小規模の温泉関連施設を検討してまいります。
	休憩場として畳の広いスペース(寝ることも食べることもできるスペース)	本道の駅では、多様な休憩要望に応える『様々な座る場所』を設けたいと考えており、具体的には詳細設計段階で検討します。
	自動車道からずっと入ることのできる広めの駐車場、米子方面からも入れるようにスロープで下り、県道へと続き一般道からも道の駅、温泉を楽しむことができる。	アクセスの容易な施設配置、イベントスペースや公園機能の整備など、収益性や雇用、費用対効果を考慮しつつコンセプトの実現に向けて必要な施設整備を検討してまいります。
	駐車場の一部にアーチ型のイベントスペースを作り、傘踊り、貝殻節踊り、よさこい踊りなどのイベントを月1~2回 土日にやる。 道の駅の近くに大きな木を植え、休憩のできる場所を作る。景観も良くちょっとした休憩もできる。駐車場からは下に緑の芝生と遊歩道が見え、遊具のある公園にも降りられる。そこでお弁当も食べられるスペースを作る。	
運営関係	休憩室は、情報の発信基地として名所旧跡、特産品などは案内人の活用を図り、パンフレットを充実し情報発信をはかること。	本道の駅では、「鳥取市の西の玄関口」としてふさわしい施設となるよう、周辺道路情報、観光情報の発信はもとより、鳥取市西地域の特色を活かした観光案内や特産品販売が必要と考えています。
	ジオパークの拠点施設、ガイドの常駐、ジオツアーの発着点。	「神話」や「ジオパーク」、「マリンスポーツ」等をテーマに体験・滞在・周遊観光等を行うような新たなツーリズムを提案する道の駅を目指します。
	駐車場は案内人をつけてスムーズな運営を。土日・イベント時には臨時駐車場を。	利用者にとって快適な施設となるよう、おもてなしの心をもった運営を行います。イベント時を考慮した臨時駐車場は、別途検討が必要と考えます。
	主婦は農産物に敏感なので地域産にこだわった商品の販売を行う。特産品は現在あるもの、新しく開発するもの等知られていないものを掘り起こすこと、ここにしかないものを売ることが望ましい。各家庭の自慢の料理を発掘する。(懸賞付き募集)	本道の駅は、地域産にこだわった農林水産物・加工品の販売を行う場所とします。観光客だけでなく、地域住民による日常的な利用により、年間通して安定した売り上げと「地産地消」を推進してまいります。 また、地域が自ら売りたいものを考え、必要に応じた生産、包装やラベルの工夫、自ら搬入・陳列等、地域のアイデアを十分に活かせる体制も整えてまいります。
その他	原案は地域創生の拠点施設として、意気込みが示されておらずどこでもある道の駅構想のように思われる。この案では、道路利用者にも地域住民にも魅力のある施設として感じられない。最後のチャンスとしてとらえてよいものを造ってほしい。	今後詳細な整備計画を決定していく過程で、鳥取市西地域の地方創生の拠点施設としてふさわしく、かつ適正規模の特色ある施設整備を検討してまいります。
	道の駅ですべてが完結してしまう設備だと、地域への人の流れができない。地域の紹介をし、道の駅を訪れた人々が地域へ行きたくなるような内容になるように、中身をしっかりと検討していただきたい。	道の駅でお楽しみいただく一方で、道の駅を経由して浜村温泉、鹿野温泉等の周辺観光地への周遊や宿泊を促進することが重要です。指定管理者とともに道の駅を起点とした周遊促進策を検討してまいります。